

# 水稻

農業部 岩農振興課 岩農指導員 小柳 哲義

による水管  
理や早期  
落水を行  
な  
んがいに  
間断か  
れます。



写真⑤ 乳白米

近年は高温・乾燥傾向で、玄米が白く濁った乳白米（写真⑤）が多く発生し、等級を下げる要因となっています。乳白米は、粉数が過剰な場合または粉数に対し登熟期の高夜温や窒素過不足などが挙げられます。

早生品種では7月中旬ごろから「出穂期」を迎えます。昨年は、7月上旬に最低気温が17°Cを下回る日があり、冷害の危険性が高まりました。出穂前2週間と出穂・開花後の低温は、不稔の原因となり大きな減収を招きます。

事前の対策は、低温が予想された時点であるべく早く深水管理をすること以外にないため、7月上旬から中旬にかけての気温には特に注意が必要です。

## 乳白米（シラタ）対策

近年は高温・乾燥傾向で、玄米が白く濁った乳白米（写真⑤）が多く発生し、等級を下げる要因となっています。乳白米は、粉数が過剰な場合または粉数に対し登熟期の高夜温や窒素過不足などが挙げられます。

## ●カメムシの生態と行動

①水田近くの雑木林や雑草地で越冬・産卵・繁殖する。  
②出穂期頃から水田内に侵入し、吸汁・産卵・繁殖行動をする。



写真⑥ 斑点米

カメムシによる斑点米（写真⑥）は、等級落ちの主要原因です。カメムシの行動パターンを理解し、散布時期の検討や薬剤の選択を行ってください。JAでは出穂期以降、薬剤による2回の防除をお薦めしています。

わないので、葉色の低下が見られる場合は追肥を検討するなど、対策を講じましょう。

## 斑点米カメムシ対策



## ●防除方法

1回目・被災の最も大きい次世代幼虫を駆除することが目的です。乳熟期（出穂から2週間後）ごろに液（粉）剤を散布します。効果は短いですが薬剤が直接カメムシにかかるため、殺虫剤が直す。残効は短いですが薬剤が直す。成虫の密度を下げ、次世代の幼虫を減らすことが目的です。散布労力を軽減するため、スターカルやキラップなどの粒剤を使用します。粒剤の成分が稻に吸収される時間を考慮し、出穂の7日前ごろが散布適期です。

## 5月の分析経過について

合計13点
多成分一斉分析
小玉スイカ ..... 2点
春ニンジン ..... 2点
春ダイコン ..... 1点
夏ネギ ..... 2点
トウモロコシ ..... 2点
ソラマメ ..... 2点
春トマト ..... 1点
タマネギ ..... 1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壤診断点数 ..... 合計65点

## 「岩農情報メール」配信中！

作柄情報、病害虫対策、青果物概況、イベント案内など、岩農に役立つ最新情報をお届けします。

↓登録はこちから（登録無料）



J.A.山武郡市の組合員ならどなたでも登録できます。

果は高くなります（スタークリヤー10、トレボン粉剤など）。2回目の防除ができない場合や、航空防除が防除適期に合わない圃場では、1回目の粒剤散布を出穂後（7～10日）に遅らせることで、被害を減らすことができます。

# 農業テクニカルダイアリー



# イチゴ

東金経済センター 岩農指導員 鶴沢 悠人

## ハダニ類の防除について

イチゴに被害をもたらすハダニの種類は、ナミハダニとカンザワハダニです。体長はどちらも0.5ミリ前後と非常に小さく、肉眼で見分けることが難しい害虫です。

主に葉の裏側に寄生し、汁液を吸収します。それにより、葉の表には白いかすり状の斑点（写真①）が出現します。多発すると葉の裏が褐色になり、株はハダニの吐く糸で覆われて枯れてしまります（写真②）。

発生源は圃場内や周辺の雜草なので、こまめに雜草を防除しましよう。本園では、苗から持ち込みによる発生が多いです。

農薬を散布する際は、葉の表・裏に加えて、葉柄にもよくかかるよう丁寧に散布してください。また、同じ系統の農薬散布をしないように注意します。多発してしまったと防除が難しくなるので、発生初期から防除に努めましょう。



写真②  
カンザワハダニによる被害  
(葉の表)



写真①  
カンザワハダニによる被害  
(葉の裏)

## 灰色かび病について

灰色かび病は、気温が低く湿度の高い時期に発生しやすく、特に梅雨時期と秋から冬にかけて発生しやすい病気です。

施設栽培では、曇雨天が長く続くとハウスの中が多湿になります。これは、糸状菌がイチゴの枯れた部分に付着、増殖することが原因です。葉などにも被害が及びますが、葉全体が褐色のカビに覆われます。

れてしまい、被害が大きくなります（写真④）。密植になり過ぎないように間隔を保ち、栽培しましょう。また、湿度が高いと灰色かび病の胞子が作られてしまうので、多湿にならないよう、日中の換気が重要です。



表① イチゴのハダニの薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	総使用回数	天敵への影響			
				アフィパール		スパイデックス	
				影響	残効	影響	残効
スター・マイクロアブル	2000倍	前日まで	2回以内	-	-	◎	0
ニッソラン水和剤	2000～3000倍	前日まで	2回以内	◎	0	◎	0
ダニコング・フロアブル	3000倍	前日まで	1回以内	◎	0	◎	0
マイコーン・フロアブル	1000倍	前日まで	2回以内	-	-	◎	0

※天敵への影響はあくまで目安なので、気象条件等により変動します。

表② イチゴの灰色かび病の薬剤

薬剤名	希釈倍率	使用時期	総使用回数	作用特性
ファンタジスタ顆粒水和剤	2000倍	前日まで	3回以内	予防
フルピカフロアブル	2000～3000倍	前日まで	3回以内	予防
セイビア-20フロアブル	1000倍	前日まで	3回以内	予防・治療
シグナムWDG	1500～2000倍	前日まで	2回以内	予防・治療



写真③  
灰色かび病による  
葉の被害